

UDツアー一行 人吉市内を観光

障害や年齢に関係なく旅を楽しむことができるユニバーサルデザイン(UD)ツアーの一行が十五日、人吉市を訪れた。同市在住の友人と十数年ぶりの再会を果たしたツアー参加者もいた。

ツアーは熊本市のUD専門旅行会社「旅のようこび」(宮川和夫代表)が企画。同市の男女八人が参加した。車いすで乗降できるリフト付きマイクロバスで移動し、ひな飾りの展示会場やみそ蔵など人吉市内の観光名所を見学。昼食は、東林寺で普茶と呼ばれる精進料理のもてなしを受けた。参加した浜田磨美子さ



再会を喜び握手を交わす浜田磨美子さん(手前左)と後藤明子さん＝人吉市

ん五七と浦田直子さん五四は、昼食時に同市の後藤明子さん(五七)と合流。三人は宇城市の肢体不自由児施設・松橋療護園(現・県こども総合療育センター)で小中学生時代をともに過ごしたが、三人で会うのは十数

年ぶり。「互いに変わらないね」とはしゃいだ様子だった。

浜田さんと後藤さんは車いす利用者で、電話や手紙での交流は続いていたが、「自分で車を運転して人吉まで来るのは大変。つい足が遠のいてい

ました」と浜田さん。後藤さんは「再会の機会をくれたツアーに感謝している。また昔のように三人で旅行に行きたい」と話した。(川崎浩平)